

宇城郡市中体研

理事長 井上 淳一

1 はじめに

宇城中学校体育研究会は中島仙一郎会長（松橋中学校）を中心に11校の体育担当者21名で組織されており、11校中8校は体育担当者が1名の小規模校である。

今年度は「主体的・対話的な学びを通して、分かる・できるを味わうことのできる保健体育学習の在り方」の研究テーマを設定し、「めあて」と「振り返り」を大切にした授業づくりをおこなった。また、「スキルウォームアップ」「言語活動」「グループ学習」を効果的に行うことを継続し、さらに研究を深めていった。

2 研究組織

会長 中島 仙一郎校長 (松橋)	副会長 田中 繁蔵校長 (不知火) 寺本 洋一校長 (小川)	宇城郡市理事長 井上 淳一 (宇土)	宇城郡市副理事長 桑机 文徳 (中央) 松川 紘士 (松橋)
------------------------	---	-----------------------	--------------------------------------

研究授業部会	川端・田口・中本・松川・宮崎 (松橋)、吉田 (不知火)、犬童 (三角)
学習カード部会	岡村・宮川 (小川)、一ノ口 (豊野)、桑机 (中央)、齋藤 (砥用)
スキルウォームアップ部会	岡本・鋤崎・田上・原 (鶴城)、岩田・西村 (住吉)、杉野 (網田)、井上 (宇土)

※全会員が三部会（研究授業・スキルウォームアップ・学習カード）に分かれて研究を進める。

3 活動状況

会議	期日	内容
1 第1回教科等研	4月26日(木)	研究組織編成・テーマ決定・年間計画 授業者決定 会場：松橋中学校
2 第2回教科等研	7月25日(水)	体育実技講習会 (中央中学校：桑机文徳教諭) 各部会活動 会場：中央中学校
3 授業研指導案検討会	10月31日(水)	第3回教科等研究会公開授業の指導案検討 会場：松橋中学校
4 第3回教科等研	11月13日(火)	授業研究会 (松橋中学校：宮崎泰裕教諭) 会場：松橋中学校
5 九州地区学校体育研究発表大会	11月22日(木)	天草市 会場：天草市立有明中学校

4 研究テーマ

「主体的・対話的な学びを通して、分かる・できるを味わうことのできる保健体育学習の在り方」
～「めあて」と「振り返り」を大切に～

5 研究の概要

(1) 実技講習会

講師 桑机文徳 教諭 (中央中学校) 単元「球技：サッカー」

中央中学校の生徒に協力をお願いし、授業形式の講習会を実施した。「体ほぐしの運動」の趣旨を踏まえた導入、ドリブルやパスなどの基本的な技能を習得させるための例などが

紹介された。ゲームは男女混合のチームで行われた。実際に授業を実践していく上において、大変貴重な学びの機会にすることができた。

(2) 公開授業及び授業研究会

授業者 宮崎 泰裕 教諭 (松橋中学校) 単元「球技・ソフトボール」

本時の目標…自分や仲間が強い打球を打てるようになるために必要なことを考えよう。

○生徒の主体的な取り組みを促す工夫

生徒が主体的に動くことができ基本的技能が高まるよう、投げる・捕る・打つ・走るの4種目をスキルウォームアップとして継続的に取り組んだ。(資料①)

○基本的知識・技能を高めるための対話的活動

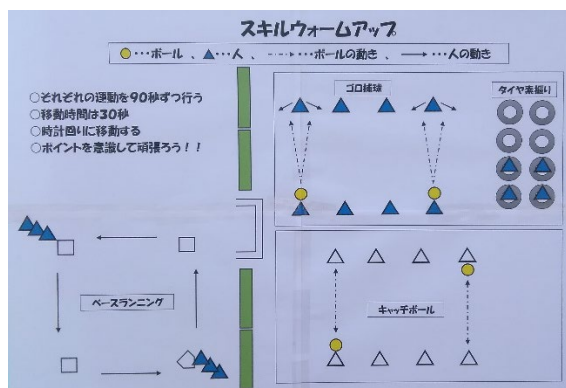
ティーバッティング用の教具を作製し、4人組のグループで練習を行い、これまでの学習や知識をもとに生徒同士で良い点や改善点を伝え合った。(資料②)

○「めあて」をつかむための工夫

毎時間のめあてや単元全体の流れを理解できるよう掲示物や学習カードに記載した。

○振り返りの工夫

振り返りでは本時の活動を通しての自分の変容や、気持ちの変化などについて考える時間を確保し、生徒の発言を拾い上げ全体で共有できるようにした。



資料①



資料②

6 まとめ

毎時間のめあてや単元全体の流れを掲示したり、学習カードにも記載することで生徒は見通しを持って授業に取り組むことができた。また、言葉での指示や説明だけでなく、図で示すこと、教具の開発、言語活動を工夫などの必要性を再確認することができた。研究テーマを意識した授業展開を実践してきたことで、生徒は毎時間のめあてを達成するために必要な練習のポイントを意識して学習を進めることができるようになってきている。このことは課題を解決するために必要なポイントをわかって、できることにつながっていくと考える。

また、ペアやグループ活動等を通して主体的・対話的な学びができるよう授業展開を工夫することは、生徒の学習意欲を高めたり、より良い人間関係をつくる上においても大切なことである。

今後も各学校において研究を深め、教師が生徒の実態を踏まえた上でどのような力をつけ、何ができるようにさせるのかを明確にし、学習展開の工夫・改善を継続していきたい。